

3. 平安時代

ステップ1 予習

◇ここで習う人名の予習をしましょう。漢字は「読み」「なぞり書き」「書き」をします。

	よみ	なぞり書き	書き
かんむてんのう 桓武天皇	()	桓武天皇	<input type="text"/>
さかのうえのたむらまる 坂上田村麻呂	()	坂上田村麻呂	<input type="text"/>
くうかい 空海	()	空海	<input type="text"/>
さいちょう 最澄	()	最澄	<input type="text"/>
すがわらのみちざね 菅原道真	()	菅原道真	<input type="text"/>
ふじわらのみちなが 藤原道長	()	藤原道長	<input type="text"/>
ふじわらのよりみち 藤原頼通	()	藤原頼通	<input type="text"/>
きのつらゆき 紀貫之	()	紀貫之	<input type="text"/>
せいしょうなごん 清少納言	()	清少納言	<input type="text"/>
むらさきしきぶ 紫式部	()	紫式部	<input type="text"/>
たいらのまさかど 平将門	()	平将門	<input type="text"/>
ふじわらのすみとも 藤原純友	()	藤原純友	<input type="text"/>
きよはらのきよひら 清原清衡	()	清原清衡	<input type="text"/>
しらかわじょうこう 白河上皇	()	白河上皇	<input type="text"/>
ごしらかわてんのう 後白河天皇	()	後白河天皇	<input type="text"/>
たいらのきよもり 平清盛	()	平清盛	<input type="text"/>

この単元の参考資料

平安時代 年表

年	主な出来事
794	へいあんきょう みやこ うつ 平安京に都を移す
802	さかのうえのたむらまる えみし せいとう 坂上田村麻呂が蝦夷を征討
805	さいちよう てんだいしゅう ひら 最澄が天台宗を開く
806	くうかい しんごんしゅう ひら 空海が真言宗を開く
894	けんとうしちゅうし すがわらのみちざね 遣唐使中止（菅原道真）
939	たいらのまさかど らん ふじわらのすみとも らん 平将門の乱・藤原純友の乱
1016	ふじわらのみちなが せっしょう 藤原道長が摂政になる
1051	ぜんくねん えき 前九年の役
1053	びやうどういんほうおうどう かんせい 平等院鳳凰堂が完成
1083	ごさんねん えき 後三年の役
1086	しらかわじようこう いんせい かいし 白河上皇が院政を開始
1156	ほうげん らん 保元の乱
1159	へいじ らん 平治の乱
1167	たいらのきよもり だじようだいじん 平清盛が太政大臣になる

図1 真言宗と天台宗

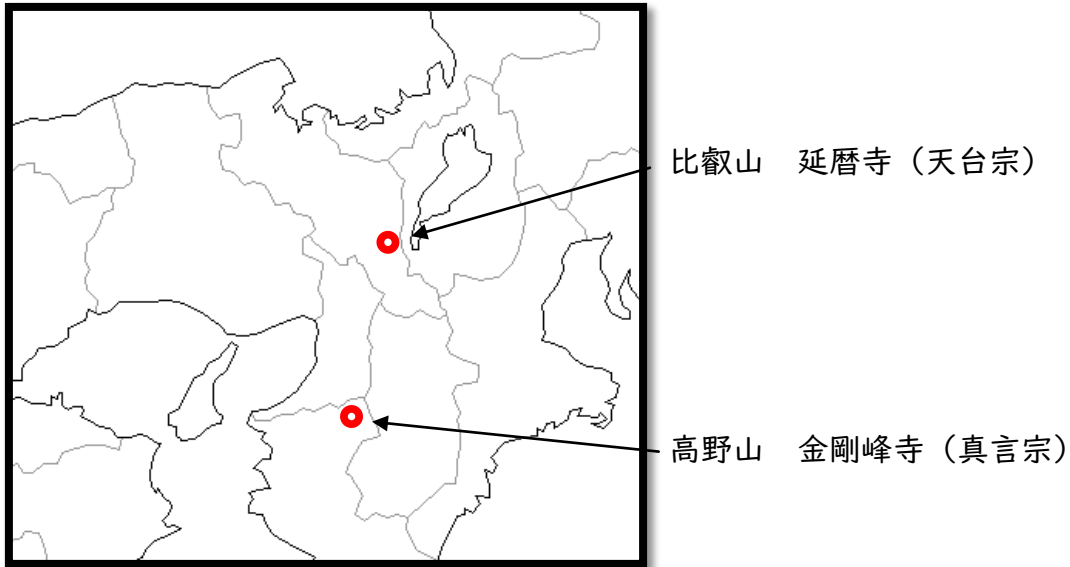


図2 保元の乱と平治の乱〔武士の力によって決着した2つの乱〕

保元の乱：後白河天皇と崇徳上皇の争い。

	天皇家	藤原氏	平氏	源氏
勝ち	ごしらかわてんのう 後白河天皇	ふじわらのただみち 藤原忠通	たいらのきよもり 平清盛	みなものよしとも 源義朝
負け	すどくじょうこう 崇徳上皇	ふじわらのよりなが 藤原頼長	たいのらただまさ 平忠正	みなものためよし みなものためとも 源為義・源為朝

平治の乱：〔藤原氏の対立〕と〔平氏と源氏の対立〕がからんで起きた争い。

	藤原氏	平氏と源氏
勝ち	ふじわらのみちのり 藤原道憲	たいらのきよもり たいらのしげもり たいらのよりもり 平清盛・平重盛・平頼盛
負け	ふじわらののぶより 藤原信頼	みなものよしとも みなものよしひら みなものよりとも 源義朝・源義平・源頼朝

ステップ2 なぞり書き

3. 平安時代

◇ 説明文中の重要語句と、説明文にあてはまる人物名をなぞりましょう。

① ^{へいじょうきょう}平城京（^{ならけん}奈良県）における^{そうりよ}僧侶の^{せいじかいにゆう}政治介入から^{はな}離れるため、

794年に^{へいあんきょう}平安京（^{きょうとふ}京都府）に^{せんと}遷都した。

桓武天皇

② ^{かんむてんのう}桓武天皇より^{せいいたいしやうぐん}征夷大將軍に^{にんめい}任命され、^{えみし}蝦夷を^{せいとう}征討した。

坂上田村麻呂

③ ^{けんとうし}遣唐使として2年間^{ねんかんとう}唐で^{ぶっきやう}仏教を^{まな}学び、^{きこくご}帰国後は^{しんごんしゆう}真言宗を^{ひら}開き、

^{こうやさん}高野山（^{わかやまけん}和歌山県）に^{こんごうぶじ}金剛峯寺を^た建てた。

空海

④ ^{けんとうし}遣唐使として1年ほど^{ねん}唐で^{ぶっきやう}仏教を^{まな}学び、^{きこくご}帰国後は^{てんだいしゆう}天台宗を^{ひら}開

き、^{ひえいざん}比叡山（^{きょうとふ}京都府と^{しがけん}滋賀県に^{やま}またがる山）に^{えんりやくじ}延暦寺を^た建てた。

最澄

⑤ 894年に、^{けんとうし}遣唐使の^{ちゆうし}中止を^{けんぎ}建議。^{うたてんのう}宇多天皇に^{ちやうよう}重用されたが、

^{ざんげん}讒言により^{ださいふ}太宰府に^{させん}左遷された。

菅原道真

讒言【ざんげん】他人を陥れるために事実を曲げたり、有りもしないことを作り上げたりして、目上の人に告げること。

⑥ 「この世をばわが世とぞ^{おも}思ふ^{もちづき}望月の^か欠けたることの^{おもえ}なしと思へば」

^{うた}の歌で有名な、^{せつかんせいじ}摂関政治の^{ぜっちやう}絶頂を^{きわ}極めた^{じんぶつ}人物。

藤原道長

3. 平安時代

⑦ 藤原道長の子。道長の後継者として若くして摂政となる。当時
 は多くの人々に浄土信仰が受け入れられていたが、この世に
 極楽浄土を再現しようと平等院鳳凰堂を建設した。

藤原頼通

⑧ 初の勅撰和歌集、『古今和歌集』を編纂した中心人物。
 『土佐日記』の作者。

紀貫之

⑨ 宮廷生活を綴った随筆『枕草子』の作者。

清少納言

⑩ 光源氏を主人公とし、宮廷に生きる人の姿を描いた長編
 小説『源氏物語』の作者。

紫式部

⑪ 939年に、関東で反乱を起こした人物。

平将門

⑫ 941年に、瀬戸内海で反乱を起こした人物。

藤原純友

⑬ 陸奥の国で、前九年の役・後三年の役を通じて

勢力争いで勝利し、奥州藤原氏の祖となった。平泉に拠点を置

き中尊寺金色堂を建てた

清原清衡

3. 平安時代

⑭ 天皇の位を譲り、自身は上皇となって、天皇の後ろ盾として政治の実権を握る院政を始めた。また、北面の武士を創設して、院の御所の警備に当たさせた。

白河上皇

⑮ 保元の乱(1156)で崇徳上皇と争い勝利した天皇。

後白河天皇

⑯ 平治の乱(1159)において、保元の乱と共に戦った源義朝と争い勝利する。後白河天皇との関係を深め、武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握った。

平清盛

プラスアルファ

① 平安時代に、藤原氏は自らの娘を天皇の后にして、その子を天皇に擁立することで天皇の外戚として権力を握った。藤原氏は、天皇が幼少のときは(摂政)として、天皇が成人すると(関白)として政治の実権を握ったほか、朝廷の高い地位を藤原氏が独占した。

② 十世紀中ごろは、社会不安が大きくなった。その中で、人々の間では念仏を唱え、阿弥陀仏を拜むと極楽浄土に行けるという(浄土信仰)が盛んとなった。

【 語 句 】

浄土信仰 摂政 関白

ステップ3 人物名を書く

3. 平安時代

◇ 説明文中の重要語句をなぞり、説明文に合う人物名を右の□に書きましょう。

① ^{へいじょうきょう}平城京（^{ならけん}奈良県）における^{そうりよ}僧侶の^{せいじかいにゆう}政治介入から^{はな}離れるため、

794年に^{へいあんきょう}平安京（^{きょうとふ}京都府）に^{せんと}遷都した。

② ^{かんむてんのう}桓武天皇より^{せいいたいしやうぐん}征夷大將軍に^{にんめい}任命され、^{えみし}蝦夷を^{せいとう}征討した。

③ ^{けんとうし}遣唐使として2年間^{ねんかんとう}唐で^{ぶっきやう}仏教を^{まな}学び、^{きこくご}帰国後は^{しんごんしゆう}真言宗を^{ひら}開き、

^{こうやさん}高野山（^{わかやまけん}和歌山県）に^{こんごうぶじ}金剛峯寺を^た建てた。

④ ^{けんとうし}遣唐使として1年ほど^{ねん}唐で^{ぶっきやう}仏教を^{まな}学び、^{きこくご}帰国後は^{てんだいしゆう}天台宗を^{ひら}開

き、^{ひえいざん}比叡山（^{きょうとふ}京都府と^{しがけん}滋賀県に^{やま}またがる山）に^{えんりやくじ}延暦寺を^た建てた。

⑤ 894年に、^{けんとうし}遣唐使の^{ちゆうし}中止を^{けんぎ}建議。^{うたてんのう}宇多天皇に^{ちやうよう}重用されたが、

^{ざんげん}讒言により^{ださいふ}太宰府に^{させん}左遷された。

⑥ 「この世をばわが世とぞ^{おも}思ふ^{もちづき}望月の^か欠けたることの^{おも}なしと思へば」

の^{うた}歌で^{ゆうめい}有名な、^{せっかんせいじ}摂関政治の^{ぜっちやう}絶頂を^{きわ}極めた^{じんぶつ}人物。

3. 平安時代

⑦ ^{ふじわらのみちなが}藤原道長の子。道長の^{こうけいしゃ}後継者として若くして^{せつしやう}摂政となる。当時

は多くの^{おお}人々に^{じやうどしんこう}浄土信仰が^う受け入れられていたが、この^よ世に

^{ごくらくじやうど}極楽浄土を^{さいげん}再現しようと^{びやうどういんほうおうどう}平等院鳳凰堂を^{けんせつ}建設した。

⑧ ^{はつ}初の^{ちやくせんわかしゆう}勅撰和歌集、『^{こきんわかしゆう}古今和歌集』を^{へんさん}編纂した^{ちゆうしんじんぶつ}中心人物。

『^と土佐日記』の^{さくしゃ}作者。

⑨ ^{きゆうていせいかつ}宮廷生活を^{つづ}綴った^{ずいひつ}随筆『^{まくらのそうし}枕草子』の^{さくしゃ}作者。

⑩ ^{ひかるげんじ}光源氏を^{しゅじんこう}主人公とし、^{きゆうてい}宮廷に^い生きる人の^{ひと}姿を^{すがた}描いた^か長編

^{げんじものがたり}小説『^{げんじものがたり}源氏物語』の^{さくしゃ}作者。

⑪ 939年に、^{ねん}関東で^{かんとう}反乱を^{ほんらん}起こした^お人物。^{じんぶつ}

⑫ 941年に、^{ねん}瀬戸内海で^{せとないかい}反乱を^{ほんらん}起こした^お人物。^{じんぶつ}

⑬ ^{むつ}陸奥の^{くに}国で、^{ぜんくねん}前九年の^{えき}役・^{ごさんねん}後三年の^{えき}役を^{つう}通じて

^{せいりよくあらそ}勢力争いで^{しやうり}勝利し、^{おうしゅうふじわらし}奥州藤原氏の^そ祖となった。^{ひらいずみ}平泉に^{きよてん}拠点を^お置

^{ちゆうそんじこんじきどう}き中尊寺金色堂を^た建てた

3. 平安時代

⑭ 天皇の位を譲り、自身は上皇となって、天皇の後ろ盾として政治の実権を握る院政を始めた。また、北面の武士を創設して、院の御所の警備に当たさせた。

⑮ 保元の乱(1156)で崇徳上皇と争い勝利した天皇。

⑯ 平治の乱(1159)において、保元の乱と共に戦った源義朝と争い勝利する。後白河天皇との関係を深め、武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握った。

プラスアルファ

① 平安時代に、藤原氏は自らの娘を天皇の后にして、その子を天皇に擁立することで天皇の外戚として権力を握った。藤原氏は、天皇が幼少のときは（ ）として、天皇が成人すると（ ）として政治の実権を握ったほか、朝廷の高い地位を藤原氏が独占した。

② 十世紀中ごろは、社会不安が大きくなった。その中で、人々の間では念仏を唱え、阿弥陀仏を拜むと極楽浄土に行けるといふ（ ）が盛んとなった。

【 語 句 】

浄土信仰

摂政

関白

ステップ4 重要語句の確認

3. 平安時代

◇ 歴史人物についての説明文について、() にあてはまる語句を、下の□から選んで書きましょう。

- ① 平城京（奈良県）における僧侶の政治介入から離れるため、**桓武天皇**は794年に（ ）（京都府）に遷都した。
- ② **坂上田村麻呂**は、桓武天皇より（ ）に任命され、（ ）を征討した。
- ③ 遣唐使として2年間唐で仏教を学んだ**空海**は、帰国後に（ ）を開き、高野山（和歌山県）に（ ）を建てた。
- ④ 遣唐使として1年ほど唐で仏教を学んだ**最澄**は、帰国後に（ ）を開き、比叡山（京都府と滋賀県にまたがる山）に（ ）を建てた。
- ⑤ **菅原道真**は、894年に（ ）の中止を建議。宇多天皇に重用されたが、讒言により太宰府に左遷された。

蝦夷	延暦寺	真言宗	平安京	金剛峯寺
天台宗	征夷大將軍	遣唐使		

3. 平安時代

⑥「この世をばわが世とぞ思ふ望月の欠けたることのなしと思へば」の歌で有名な**藤原道長**は（ ）の絶頂を極めた人物である。

⑦ 藤原道長の子である**藤原頼通**は、道長の後継者として若くして摂政となる。当時は多くの人々に（ ）が受け入れられていたが、この世に極楽浄土を再現しようと（ ）を建設した。

⑧ **紀貫之**は、初の勅撰和歌集『（ ）』を中心となって編纂した。
『土佐日記』の作者でもある。

⑨ **清少納言**は、宮廷生活を綴った随筆『（ ）』を書いた。

⑩ **紫式部**は、光源氏を主人公とし、宮廷に生きる人の姿を描いた長編小説『（ ）』を書いた。

浄土信仰	枕草子	平等院鳳凰堂
摂関政治	源氏物語	古今和歌集

3. 平安時代

- ⑪ 939年、**平将門**が（ ）で反乱を起こした。
- ⑫ 941年、**藤原純友**が（ ）で反乱を起こした。
- ⑬ 陸奥の国で、（ ）を通じて勢力争いで勝利した
清原清衡は、奥州藤原氏の祖となった。（ ）に拠点を置き、
（ ）を建てた。
- ⑭ **白河上皇**は、天皇の位を譲り、自身は上皇となって、天皇の後ろ盾として政治の実権を握る（ ）を始めた。また、北面の武士を創設して、院の御所の警備に当たらせた。
- ⑮ **後白河天皇**は、（ ）（1156）で崇徳上皇と争い勝利した。
- ⑯ **平清盛**は、（ ）（1159）において、保元の乱で共に戦った源義朝と争い勝利する。後白河天皇との関係を深め、武士として初めて（ ）となり、政治の実権を握った。

関東	中尊寺金色堂	院政	前九年の役・後三年の役	
平泉	平治の乱	太政大臣	保元の乱	瀬戸内海